



グローバル市場という現実と企業を選択

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

世界メジャーとの競争は、自己の優位性におけるグローバル市場への参加を行うことを求められる。

これらは新しいグローバル市場のルールを自己において提案するものである。これらは企業環境が、独自理解と理念を求められ、企業内容において、世界市場の牽引を要求されるのである。

これらは等しくパワーポリティックスという現実において、企業の独立性と自立は、自己の独立した行動を実現するものである。

これら世界メジャーの対等性は、全ての企業内容において、対等な企業構築を求められる。

これらは政治という潮流への参加を余儀なくされ、政治と経済の結びつきへ、自己のプレゼンスを実現するものである。

これらはグローバル市場の独占へ、公正なルールの要求とともに、自己の参加を提案するものであり、西洋陣営の有する絶対的なプレゼンスへ、必ず対等な自己を要求されるものである。

これらは企業の強さは、自己の自立や独立において存在し、企業の理念は世界との対等な対話における未来の実現を提案するものである。

これらは資本力が支配するグローバル市場へ、自己の資本力を求められ、これらは、個別現実へ、個別判断を行うものである。

これらは将来における市場変化は、先端性における新しい世界の創造とともに存在し、これら現実に対して必ずトッププレゼンスの維持を求められるものである。

これらは企業内容が優れることにおいて可能とされるのである。そのため、新しい市場環境への対応は、独自性や企業哲学を基盤とした新しい未来の創造を要求されるものである。